



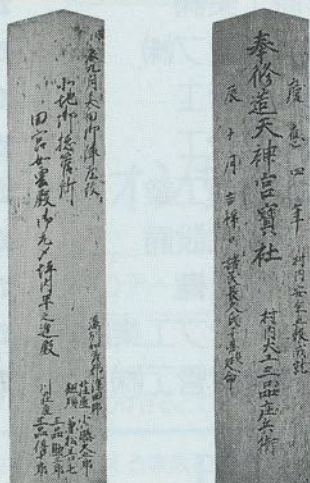
# 偉人 坪内逍遙

## 逍遙と美濃加茂

幼少のころの逍遙は、紙に人物や動物を描き、それに色を塗るのがとても好きで、「<sup>ひじょうま</sup>未生れの紙食い虫」と家族から呼ばれるほどでした。

木曾川の深田の御岩で水遊びをしたり、深田の天神神社（明治40年の合社で深田神社となり取り壊されました）境内にあつた椿の実で「木の実振りっこ」という遊びに夢中になっていました。

慶応4年の天神神社の掛札には当時代官所の役人であつた父・平之進の名が記されています。



慶応4年・天神神社の掛札